

消防だより



虹のマーチ

2009.2
第12号

川越地区消防組合



精鋭たち（左から はしご隊・高度救助隊・指揮隊・救急隊・消火隊・支援隊）



ごあいさつ

川越地区消防組合

管理者 川合 善明

このたび、川越地区消防組合管理者に就任いたしました川越市長の川合善明です。

ここに消防組合管理者として就任し、その職責の重大性を痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。

当消防組合は、昭和四十八年に川越市と川島町とで消防事務を共同処理するため、一部事務組合を設立し、以来、市町民の生命あるいは財産を火災等の災害から保護するため、消防行政の推進を図って参りました。

近年、少子高齢化の進展や建築物の大規模化など社会環境や都市構造の変化に伴い、火災をはじめとする消防活動は複雑多様化し、市町民の消防に対する期待はますます高まっております。より一層の消防防災体制の整備拡充が求められています。

当消防組合の施策の推進としましては、第一に、消防車両の更新および新規導入並びに防火水そうの増設など、初動消防力の強化を推進して参ります。第二に、救命率の向上を図るため、応急手当の普及啓発を推進し、また、教育訓練を充実させ、救急隊員の資質の向上を図るなど、救急業務体制の整備を図って参ります。第三に、火災予防対策を推進させ、事業所の防火管理体制の充実や市町民の防火意識の向上を図って参ります。

今後、更に消防防災体制の充実強化を推進し、職員とともに専心消防行政の進展に努力して参りますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

川越地区消防組合

春季全国火災予防運動 実施期間 平成二十一年三月一日(日)～三月七日(土)

もうすぐ三月。でも、まだまだ寒い日が続いています。灯油・ガス・電気を使用し、部屋を暖めたり、こたつを使ったりすることがあります。



電気火災にご注意ください

そのため、火災予防の意識を高め、火災の発生を防止しましょう。

昨年の川越地区消防組合管内で発生した建物火災件数は、七十一件でした。原因としては、こんろ、ストーブ、たばこなどがあげられます。このほかに注意したいのが**電気火災**。左に三つ、**電気火災**の原因をお知らせしています。使用する際に注意して火災をなくしましょう。



トラッキング現象

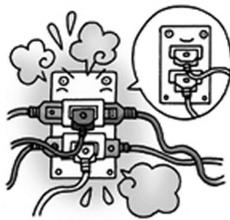


差し込みプラグを長期間コンセントに差し込んだままの状態で使用すると、すき間にはこりなどがたまり、そこに湿気が加わると、プラグの二本の差し込み金具の間で火花放電が繰り返し返され、やがて熱を持ち発火する恐れがあります。これをトラッキング現象といいます。

(使用する際の注意点)

- ・プラグをコンセントに差し込むときは、しっかりと奥まで差し込んでください
- ・コンセントの差し込み部分とプラグの間を定期的に点検し、ほこりなどがたまらないように、乾いた布で清掃してください
- ・異常に熱をもったプラグは、とても危険です。すぐに使用を中止してください

たこ足配線



テーブルタップは、使用できる電流の許容量が決まっています。それを考えずに、次々と家電製品を接続し、許容量をオーバーした状態で使用し続けると、発火する恐れがあります。

(使用する際の注意点)

- ・テーブルタップを使用する際は、許容量を守りましょう
- ・コードが家具の下敷きになっているなど、傷んだコードの使用を続けていると、ショートして火災の原因になる場合があります

電磁調理器

電磁調理器(IH)で、鍋底に反りがあるものを使用すると、鍋底と加熱面にすき間があるため、安全機能が働かなくなる可能性があります。

(使用する際の注意点)

- ・説明書をよく読んで、正しく使用しましょう
- ・メーカーが推奨する鍋を使用し、それぞれの調理に適した鍋を使用しましょう
- ・揚げ物をする際は、メーカーが指定する油の量を守りましょう

電気火災の原因に、長年電気製品を使用したために劣化して、発煙・発火を起こす場合があります。火災を未然に防ぐには、家電製品の日ごろの点検も大切です。

異常に気付いたら、すぐに使用を中止し、プラグを抜き、電気製品メーカー、購入した家電販売店に連絡をしてください。左の二つの国民生活センターで電話相談を受け付けています。

・埼玉消費生活支援センター川越
TEL 247-0888
受付時間 午前9時30分～正午
午後1時～午後4時
月～金曜日

・川越市生活情報センター
TEL 226-7476
受付時間 午前10時30分～午後4時30分
月・水～金曜日

TEL 226-0058
受付時間 午前10時～午後3時30分
火曜日
問い合わせ 消防局指揮統制課
TEL 222-0700

大切な生命、財産を守るために
住宅用火災警報器を設置しましょう

就寝中に火災が発生すると、気が付いたときには手遅れになる場合があります。

火災の早期発見・早期避難のため、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。



問い合わせ 消防局予防課
TEL 222-0744

「僕たち・私たちは火遊びをしません」幼年消防クラブについてお知らせします

幼年消防クラブは、幼稚園児に火の正しい知識を身に付けることを目的として結成されています。

現在、川越地区消防組合管内には、左の七園が同クラブを結成しています。

- ・川越ひばり幼稚園（川越市寺山）
- ・川越第二ひばり幼稚園（川越市笠幡）
- ・川鶴ひばり幼稚園（川越市川鶴）
- ・かすみ幼稚園（川越市安比奈新田）
- ・高の葉保育園（川越市砂）
- ・川島幼稚園（川島町畑中）
- ・とねがわ幼稚園（川島町中山）



川越産業博覧会



消防出初式（川島町）

この七園は、消防防災に関する業務に貢献し、その功績が特に顕著で、ほかの模範となったために、十月二十七日、埼玉会館（さいたま市浦和区）で開催された埼玉県自治体消防六十周年記念式典において、県知事から消防防災関係功労団体表彰を受けました。

主な活動としては、川越産業博覧会や川島町の消防出初式で、園児たちが「火の用心」のはつぴ姿で楽器演奏や踊りなどを元気いっぱい披露して、地域の皆さんに火災予防を呼びかけています。

また、春の火災予防期間中に開催する絵画展では、消防自動車などを描き、園児たちの「火事がなくなつてほしい」という思いが込められた個性あふれる絵を展示しています。今年の絵画展は、左のとおり開催します。

皆さんのご来場をお待ちしています。

開催日時 二月二十八日（土）

三月一日（日）

開催時間 午前10時～午後4時30分

開催場所 アトレ（川越市協田町）

六階コミュニケーションルームA

問い合わせ 消防局予防課

TEL 222-0744



絵画展

消火協力ありがとうございました

次の消火協力に対して、消防局長が感謝状をお贈りしました。

◎建物・車両火災において、火災現場で消火協力に貢献されました。

九月十七日

川越市上戸地内

・川越市上戸 二飯田清さん

・清瀬市旭が丘五丁目 黒川隆博さん

十一月二日

川島町上伊草地内

・川越市伊佐沼 須賀浩之さん

十二月二十八日

川越市砂新田三丁目地内

・川越市砂新田三丁目 高橋勇さん

・同 高橋輝子さん

・同 海銚五郎さん

・同 海銚俊子さん

・同 川原井恵子さん

◎建物火災において、火災現場で救助協力に貢献されました。

十二月三日

川越市八ツ島地内

・川越市古谷上 野田龍浩さん

十二月二十五日

川越市古谷本郷地内

・川越市古谷本郷 猪野貞子さん

問い合わせ 消防局総務課
TEL 222-0741

2008年度全国統一防火標語「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」

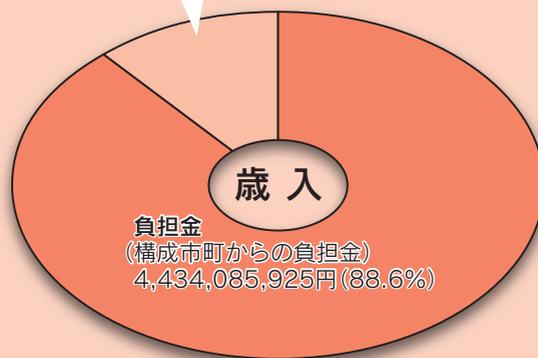
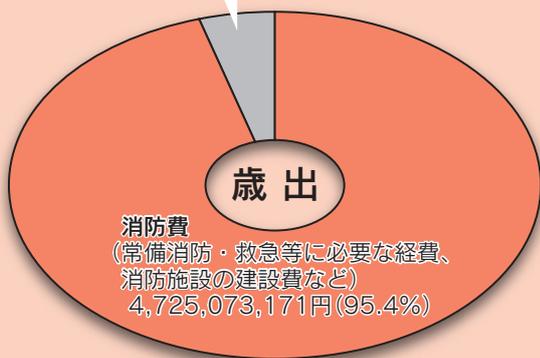
平成19年度決算額

歳出 49億5,077万5,928円

歳入 50億283万4,807円

公債費 (長期債の元金および利子) 217,236,488円 (4.4%)
 議会費 (議員報酬等の議会運営費) 5,220,547円 (0.1%)
 総務費 (特別職・公平委員・監査委員の報酬等の経費) 3,245,722円 (0.1%)

組合債 (消防施設等の整備にかかる借入金) 486,200,000円 (9.7%)
 繰越金 (前年度剰余金) 49,136,681円 (1.0%)
 諸収入 (受託収入等) 25,694,177円 (0.5%)
 使用料および手数料 (消防関係検査等の手数料) 5,565,212円 (0.1%)
 財産収入 (基金運用の利子等) 2,152,812円 (0.0%)



【負担金】消防行政を運営するうえで必要な主な財源は、組合を構成する川越市と川島町からの負担金です。

※比率 (%) の合計は端数処理の関係で必ずしも100%にはなりません。

平成十九年度決算

特殊火災対応研修

十一月十一日・十二日に、川越地区消防局で職員研修を実施しました。この研修は、毎年消防職員の知識向上を目的として行われているものです。

今年度は多数の防災関係機関への技術的援助を行っている、第一化成産業株式会社 (川越市南台一丁目) 取締役兼エアーフォーム製造部長、眞仁田健二さんを講師に招きました。

屋外タンク、タンクローリーなどの危険物施設の特大火災に対応するための知識の習得、可燃性液体の性状・有効な消火薬剤の選定および消火方法について、講義を受けました。



今後、多様な特殊災害に備え、他機関と協力し「安心・安全なまちづくり」を目指します。

南古谷地区在住の方から、訓練塔の寄贈を受け、一月十六日、川越地区消防組合管理者から感謝状が贈呈されました。

寄贈された訓練塔は、鉄骨造で幅四メートル、奥行き五メートル、高さ九・五メートルの大きさで、救助技術訓練や各種警防訓練を実施するための機能を備えています。

今後は、この訓練塔の周囲で、消防隊員の大きな掛け声が日々こだまします。



南古谷分署に訓練塔寄贈

救急救命士再教育病院実習に産婦人科および小児科病院研修を導入

川越地区消防局では、救急救命士の再教育病院研修を埼玉医科大学総合医療センター (川越市鴨田) で実施しています。

今年度からは、社会的な問題となっている妊婦および子どもへの対応を向上させるために、病院研修カリキュラムの中に産婦人科および小児科の内容を取り入れ、より総合的な病院研修ができるようにしました。

これらの研修を通じて、妊婦および子どもが安心できる質の高い救急サービスを提供できるように努めていきます。

問い合わせ 消防局警防課
TEL 222-5891

問い合わせ 消防局総務課
TEL 222-0741

問い合わせ 消防局救急課 TEL 222-0160

消防だより

虹のマーチ

2009.2 第12号

□発行/川越地区消防局 総務課
 〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741
<http://www.119kawagoechiku.jp/>
 消防テレホンサービス/TEL 223-0700 *かけまちがいにご注意ください。

平成20年中の火災・救急・救助件数

火災 121件
 救急 13,403件
 救助 202件

119番入電件数は21,910件でした。



火事・救急・救助は119番